

千葉大学の理念

つねに、より高きものをめざして

千葉大学は、世界を先導する創造的な教育・研究活動を通しての社会貢献を使命とし、生命のいっそうの輝きをめざす未来志向型大学として、たゆみない挑戦を続けます。

千葉大学の目標

私たち役員と教職員は、上記の理念のもと、自由・自立の精神を堅持して、地球規模的な視点から常に社会とかかわりあいを持ち、普遍的な教養（真善美）、専門的な知識・技術・技能および高い問題解決能力をそなえた人材の育成、ならびに現代的課題に応える創造的、独創的研究の展開によって、人類の平和と福祉ならびに自然との共生に貢献します。

1. 私たちは、学生が個々の能力を発揮して「学ぶ喜び」を見だし、鋭い知性と豊かな人間性を育ていく自律成長を支援するために、最高の教育プログラムと環境を提供します。千葉大学は、学生と私たちがともに学ぶ喜びを生きがいと感じ、ともに成長していく知的共同体です。
2. 私たちは、学生とともに、社会で生じるさまざまな問題の本質を、事実を踏まえて深く考察し、公正かつ誠実な問題解決に資する成果を速やかに提供して、社会と文化ならびに科学と技術の発展に貢献します。
3. 私たちは、総合大学としての多様性と学際性を生かし、国内外の地域社会・民間・行政・教育研究諸機関と連携して、領域横断的研究と社会貢献を積極的に推進します。
4. 私たちは、各人の個性・能力・意欲および自主性が継続的に最大限発揮され、意欲ある人材が積極的に登用される仕組みと環境を構築し、時代の変化に応じて柔軟に大学を経営します。

2005年10月11日 制定



千葉大学環境・エネルギー方針

わたしたち人類は、産業革命以来、大量の資源エネルギーを用いてその活動を発展させてきました。その結果、地球の温暖化、化学物質汚染、生物多様性の減少など、さまざまな環境問題に直面しています。まさに、人間活動からの環境への負荷によって人類の存続の基盤となる環境がおびやかされています。

また、国連サミットで採択された持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて、だれひとり取り残さないという考え方のもとで、環境・社会・経済の課題を同時に解決する努力を続ける必要があります。われわれは、こうした世界の現状及び将来に対して、英知を結集させ、教育・研究機関として行動し、社会に貢献していきます。

このため、とくに次の事項を推進していきます。

1. 文系と理系の知恵を集積し、また附属学校と連携し、総合大学としての特長を活かした環境教育と研究の実践を進めます。
2. 省エネルギー・省資源、資源の循環利用、グリーン購入を推進し、構内の緑を保全します。
また、化学物質の安全管理を徹底し、汚染を予防します。これらにより環境負荷の少ない緑豊かなキャンパスを実現します。とくに、環境・エネルギーに関連する法規制や千葉大学が同意する環境に関する要求事項を理解し、遵守します。
3. 環境・エネルギーマネジメントシステムの構築と運用は学生の主体的な参加によって実施します。
また、学生による自主的な環境活動を推奨し、多様な環境プログラムが実施されるキャンパスを目指します。
4. 環境・エネルギーマネジメントシステムを、地域の意見を反映させながら、地域社会に開かれた形で実施していきます。
5. 国立大学の中で全国トップ水準のエネルギー効率を維持し、継続的に改善していきます。
また、エネルギーパフォーマンス改善に繋がる製品やサービスの調達、施設の設計を支援します。

千葉大学では、この環境・エネルギー方針に基づき目標を設定し、その実現に向けて行動するとともに、行動の状況を監査して環境・エネルギーマネジメントシステムを見直します。これにより、継続的にシステムの改善を図ります。

また、この環境・エネルギー方針は文書化し、千葉大学の教職員、学生、常駐する関連業者などの関係者に周知するとともに、文書やウェブサイトを用いて一般の人に公開します。

2004年4月1日 制定

2008年4月1日 改定

2013年7月24日 改定

2019年4月1日改定

千葉大学長 中山 俊 憲



CHIBA UNIVERSITY

Chiba University Aspirations 世界に冠たる 千葉大学へ

-Towards a world preeminent academic institution-

World
Leading
Research

国際頭脳循環の中核として世界最先端の研究を展開

- ▶ 学問の多様性を尊重し独創的な研究を推進
- ▶ 学際研究領域を開拓する世界水準の学術研究を推進
- ▶ 新たな価値を創造するイノベティブな研究を推進
- ▶ 国際高等研究基幹による戦略的な研究教員組織を構築

Global
Education

世界に学び世界に貢献する人材の育成

- ▶ 世界をキャンパスに最先端を学修できる優れた教育環境を提供
- ▶ グローバル社会のリーダーたる資質とチャレンジ精神を涵養
- ▶ 幅広い教養と豊かな知性ととも高度な専門性を錬磨
- ▶ 国際未来教育基幹の強化による最高水準の先進的教育基盤を構築

Holistic
Governance

運営基盤を強化し、持続的な発展を導く大学経営

- ▶ デジタル・トランスフォーメーション(DX)による戦略的な大学運営
- ▶ 個々の力を引き出し、協働体制で競争力を強化
- ▶ 誰もが生き生きと活躍できる多様性のあるアカデミア環境を構築
- ▶ 戦略的広報活動と社会資源の有効活用

Social
Engagement

社会に大きく貢献する千葉大学

- ▶ 高度な研究成果や優れた人材の育成を通じて社会の持続的発展に貢献
- ▶ 卓越した知と人材の集積拠点として環境や地域社会に貢献
- ▶ イノベーションの創出に向けた産学官連携の強化
- ▶ 世界をリードする千葉大学ブランドの定着

付4) キャンパスマスタープラン 2022 検討の経緯

月	内 容	備 考
4	・CMP 改訂準備作業	
5	・CMP 資料編改訂作業開始 ・CP 室会議 (第1回 5/10)	
6	・各キャンパスのヒアリング ・施設整備費概算要求	(西千葉)6/3 教育学部,6/7 人文学研究院・社会科学研究院,6/10 国際学術研究院,6/14IMO, 6/23 工学研究院,6/24 理学研究院,7/12 予防医学センター (亥鼻)6/17 薬学研究院,6/21 看護学研究院 (松戸)6/28 園芸学研究院
7	・各キャンパスのヒアリング ・工学部再開発 WG 開始 ・柏の葉学園の道分科会 開始 ・CP 室会議 (第2回 8/4)	(柏の葉)7/19 環境健康フィールド科学センター, 柏の葉診療院, 園芸学研究院
8	・ヒアリングまとめ ・CMP 資料編改訂作業進捗確認 ・CMP 本編改訂箇所洗い出し	8/23CMP コアメンバー打合せ①
9	・各キャンパスのヒアリング ・CMP 本編改訂作業	(亥鼻)9/7 医学研究院 9/16CMP コアメンバー打合せ②(専門分野) 環境 ISO 内部監査 (9/27~30)
10	・CMP 本編改訂作業 ・各キャンパス地区別 WG 開催	10/6 亥鼻 WG 10/11 西千葉 WG, 10/13 松戸 WG 10/28 学長レク①
11	・各キャンパス地区別 WG 開催 ・CP 室会議 (第3回 11/17)	11/24 亥鼻 WG 11/24CMP コアメンバー打合せ③(緑地)
12	・各キャンパス地区別 WG 開催 ・キャンパスアメニティ満足度調査 ・工学系再開発 WG とりまとめ ・経営戦略基幹会議 中間報告 (12/21)	12/2 学長レク② 12/2CMP コアメンバー打合せ④(エネルギー) 12/6 西千葉 WG, 12/8 松戸 WG 環境 ISO 外部審査 (更新審査 12/6-7)
1	・CMP2022 原稿まとめ	1/19 柏の葉 WG
2	・西千葉 東大生産研跡地 事業者決定 ・CMP2022 原稿まとめ ・CP 室会議 (第4回 2/2) ・大学運営会議 中間報告 (2/10)	
3	・CMP2022 とりまとめ ・CP 室会議 (第5回 3/29)	3/31 冊子編集会議
4	・最終まとめ, 入稿レイアウト編集	4/21 墨田サテライト WG
5	・CP 室会議 (第1回 5/12)	
7	・経営戦略会議 (7/12), 教育研究評議会 (7/14) 経営協議会 (7/21), 役員会 (7/26) ・発行	

付5) キャンパスマスタープラン 2022 検討ワーキンググループ名簿

区分	氏名	所属
キャンパス整備企画部門・部門長	中谷 晴昭 *1	理事 (企画・人事担当)
キャンパス整備企画室	安森 亮雄 *2	室長・大学院工学研究院教授
	武田 史朗 *3	副室長・大学院園芸学研究院教授 (ランドスケープ担当)
	上野 武 *4	顧問・運営基盤機構 特任教授 (2021 年度)
	木村 真彦 *1	副室長・施設環境部長
	前田 弘喜 *1	副室長・施設環境部長 (2021 年度)
	鈴木 雅之 *5	大学院国際学術研究院准教授 (西千葉地区代表)
	三木 隆司 *	大学院医学研究院教授 (亥鼻地区代表)
	木下 剛 *6	大学院園芸学研究院准教授 (松戸・柏の葉地区代表)
	鈴木 弘樹 *	大学院工学研究院准教授 (柏の葉プラン担当)
	倉阪 秀史 *7	大学院社会科学研究院教授 (環境 ISO 担当)
	林 立也 *8	大学院工学研究院准教授 (省エネルギー担当)
	張 益準 *9	デザイン・リサーチ・インスティテュート准教授 (サイン計画担当)
	永瀬 彩子 *10	大学院国際学術研究院准教授 (緑地環境担当)
	澁谷 祐二 *11	施設環境部施設企画課長
	関 英徳 *11	施設環境部施設企画課長 (2021 年度)
	有野 克己 *	施設環境部建築環境課長
	滝口 光信 *	施設環境部設備環境課長
	渡辺 順一 *	施設環境部亥鼻施設課長
	金子 真大 *12	キャンパス整備企画室技術補佐員
	西千葉地区検討 W.G.	赤染 元浩 *
大和 政秀 *		大学院教育学研究科教授
亥鼻地区検討 W.G.	伊豫 雅臣 *	大学院医学研究院教授
	中村 伸枝 *	大学院看護学研究院教授
松戸地区検討 W.G.	古谷 勝則 *	大学院園芸学研究院教授
柏の葉地区検討 W.G.	野田 勝二 *	環境健康フィールド科学センター助教
事務局 (施設環境部)	三好 聖子 *13	施設環境部施設企画課 (2021 年度)
	中村 淳也 *13	施設環境部施設企画課

主な担当箇所

- | | |
|---|---------------------------------------|
| *1: 全体統括 | *8: 3-1(4) エネルギー消費, 4-7 エネルギー・フレームワーク |
| *2: 全体統括, 全体執筆 | *9: 4-8 サイン・フレームワーク, 冊子デザイン |
| *3: 1-2(3) リーディングプラン, 4-4 松戸キャンパス, 4 各節 (2) | *10: 4-2 西千葉キャンパス (1), 4 各節 (2) |
| *4: 全体統括, 2012-17 版全体執筆, 4-6 墨田サテライトキャンパス | *11: 3-1(3) キャンパスの安全性, 4 各節 課題と対策 |
| *5: 4-2 西千葉キャンパス, 資料編アメニティ満足度調査 | *12: 本編図版作成, 資料編 |
| *6: 4-4 松戸キャンパス | *13: 資料編 |
| *7: 2-3 基本整備方針 2, 4-7 エネルギー・フレームワーク | *: 担当地区監修 |

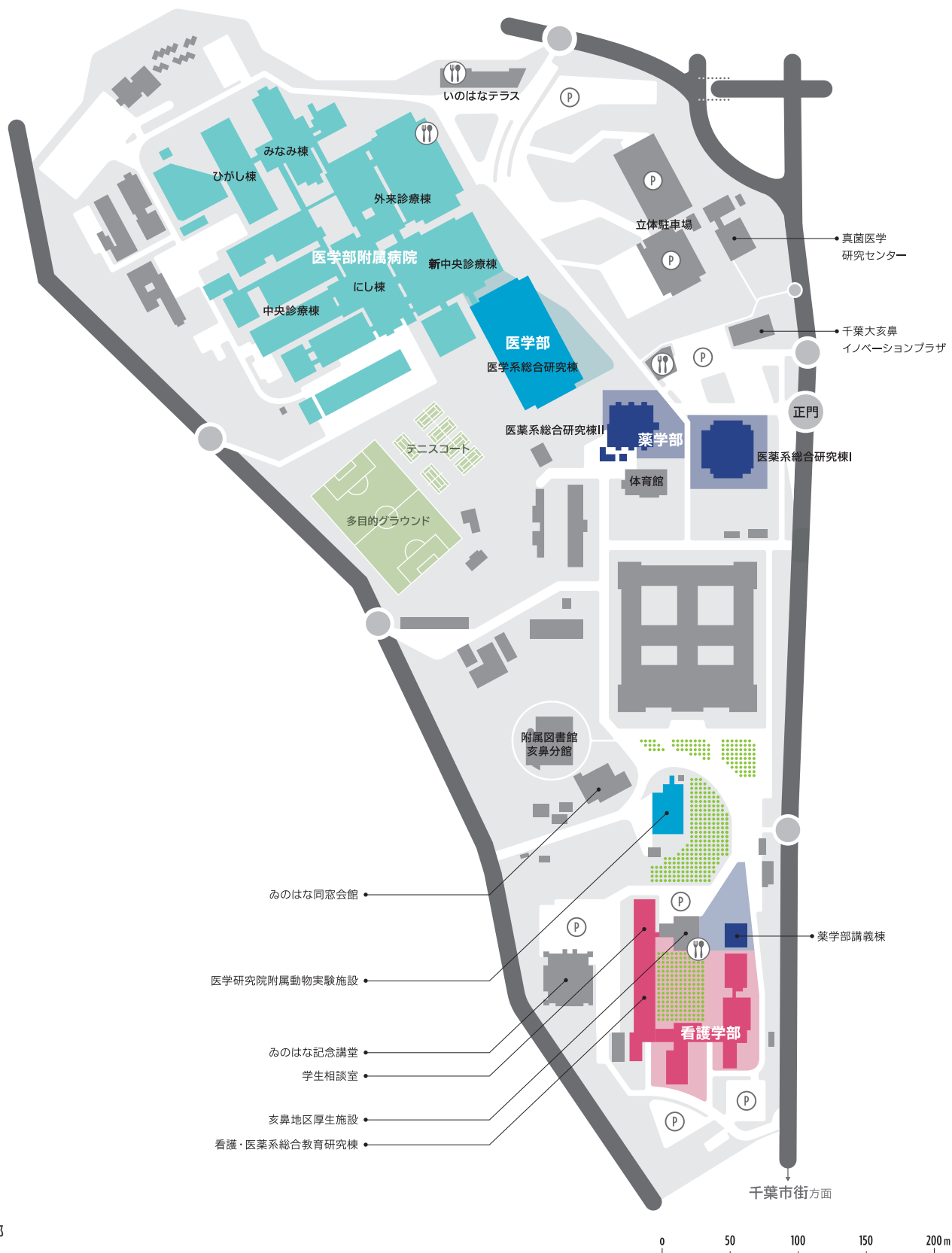
付6) キャンパスマップ

西千葉キャンパス

約380,958m²



〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33
TEL 043-251-1111



〒260-8670 (医)、〒260-8675 (薬)、〒260-8672 (看)、〒260-8673 (真菌)、〒260-8677 (附属病院) 千葉市中央区亥鼻1-8-1
TEL 043-222-7171



● 園芸学部



〒271-8510 松戸市松戸648
TEL 047-308-8706



